

## 日本語学習内容（シラバス）

到達目標	
	<p>「学士力」の礎となり、かつ、社会での人間関係を紡ぐために必要な、汎用的で豊かな日本語力を身につけることを目的とする。</p> <p>初年次終了時までには、漢字分野、語彙分野、文法・敬語分野、短文読解分野、長文読解分野、図表読解分野のそれぞれレベル7まで、確認テストを含めて完全に遂行し習得する。卒業時までには、全分野それぞれレベル10まで、確認テストを含めて完全に遂行し習得する。</p> <p>とりわけ活字離れが言われる今日、プレゼンテーション等での発信力、表現力を広く培っていくためには、「語彙力」の習得が重要となる。また、論文・レポートを書くために必要な客観的で抽象的な事柄に対する洞察力、論理的な思考力を獲得するためには、「短文読解力」「長文読解力」「図表読解力」をはじめとした「読解力」の育成が重要となる。日本語力が向上するために、とくにこれらの分野を重点的に習得する。</p> <p><b>【漢字分野】</b></p> <p>(1) 漢字分野として、常用漢字の読み書きに加え、</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 新聞や新書などに出てくる漢字（漢字検定準1級程度）を読むことができる。</li><li>② 新聞や新書などに出てくる漢字（漢字検定2級程度以上）を書くことができる。</li></ul> <p>(2) 四字熟語においては、数字・心身語彙・同文字関連の熟語を書くことができる。</p> <p><b>【語彙分野】</b></p> <p>(3) 新聞や新書、専門分野の入門書に出てくる抽象的な語の意味を理解し、文脈に応じて適切に使い分けることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① ことわざ・成句においては、一般的なことわざ・成句を文脈に応じて適切に使い分けることができる。</li><li>② 一般的な語義を始めとし、動詞・名詞を文脈に応じて適切に使い分けることができる。</li></ul> <p><b>【文法・敬語分野】</b></p> <p>(4) 文法においては、使役・受身・可能を文脈に応じて適切に使い分けることができる。</p> <p>(5) 敬語においては、敬意表現を文脈に応じて適切に使い分けることができる。</p> <p><b>【短文読解分野】</b></p> <p>(6) 文の並べ替え、文中への適語の選択、著者の主張を読み取ることができる。</p> <p><b>【長文読解分野】</b></p> <p>(7) 段落の構成、部分的な著者の主張、全体的な著者の主張を読み取ることができる。</p> <p><b>【図表読解分野】</b></p> <p>(8) 図や表においては、タイトルや注などの基本的な情報、部分的な特徴、全体的な特徴を読み取ることができる。</p>

学 習 内 容

(シラバス素案)

日本語教材は「漢字読み」「漢字書き」「語義」「ことわざ・成句」「四字熟語」「表記・文法・敬語」「短文読解」「長文読解」「図表読解」の9分野に分かれる。それぞれの分野は、レベル1からレベル10まで（高校卒業レベルが1～3，大学初年次レベルが4～7，大学卒業レベルが8～10）で構成されている。

この教材のうち、「漢字読み」「漢字書き」「語義」「ことわざ・成句」「四字熟語」「表記・文法・敬語」「短文読解」の7分野を入学直後にプレースメントテストとして実施する。プレースメントテストの分野と教材の分野の関係は以下の通りである。

プレースメントテスト	日本語教材
漢字の知識	漢字読み，漢字書き，四字熟語
語彙の知識	ことわざ・成句，語義
文法・敬語の知識	表記・文法・敬語
読解力	短文読解

プレースメントテストの分野毎の結果により各分野に合わせたレベルから学習を開始し、初年次終了時点で全分野すべてレベル7まで到達することを学習目標とする。具体的には、プレースメントテストでの評価が大学での学習に必要なレベルに達している場合はレベル4から、概ね達している場合はレベル2から、概ね達していない場合はレベル1から学習を開始する。

到達度テストの分野と教材の分野の関係は以下の通りである。

到達度テスト	日本語教材
漢字の知識	漢字読み，漢字書き，四字熟語
語彙の知識	ことわざ・成句，語義
文法・敬語の知識	表記・文法・敬語
読解力	短文読解・長文読解・図表読解